



みなみ

宇都宮南高 P T A だより

第 75 号

発行日 平成21年12月22日
 発行者 栃木県立宇都宮南高等学校
 P T A
 編集者 栃木県立宇都宮南高等学校
 P T A 広報部
 印刷所 (株)松井ピ・テ・オ・印刷
 〒321-0904 宇都宮市陽東5丁目9番21号
 TEL 028 (662) 2511



工事前 (入学式)

耐震補強工事 始まりました

管理・特別教室棟

平成21年7月～

平成22年1月末

完成予定



工 事 中

第24回 宇南高祭

好きです、宇南!

平成21年 9月5日(土)
 一般公開 9:30～15:00
 栃木県立宇都宮南高等学校

テーマ
 デザイン 原田 瞳
 時田 亜矢加
 越智 愛海



工事中 仮校舎 (第2体育館)

目次	・ 副会長、教頭挨拶	P.2
	・ P T A 活動	P.3
	・ 学校祭発表	P.4, P.5
	・ アンケート	P.6
	・ 修学旅行	P.7
	・ 部活動報告	P.8



PT A活動で思うこと

PT A副会長 神山 多美江

平成十八年に息子が入学し、自宅から学校が近いからと勧められ、PT A役員をお受けしました。翌年娘が入学し、四年目になるPT A活動も、早いものでもう終盤を迎えました。

一歳と一ヶ月離れた息子と娘ですが、仕事は続けていましたので、私の子育ては非常に雑なものだったと思います。今は大学生と高校生になりましたので周りの方々からは「楽になったでしょう」と声をかけていたのですが、子供は子供、いくつになっても悩みはつきないものです。

今、私たちを取り巻く環境は社会が急激に変化をし、将来が見えない状況にあります。不安が増す毎日ですが、子供たちはそれに惑わされることなく、夢に向かって進んでほしいと思います。現時点では目標が見つかっていない子もいるかもしれませんが、目標を見つけないでいいのでしょうか。この先、社会に出ると様々な場面にぶつかると思います。どんな場面に直面しても、自ら考え突き

進む力を、この高校生活で育んでほしいと願っています。私はPT Aとしての立場になります。子供たちの応援ができたらと思っています。

高校は小中学校と比べ、学校を訪れる機会も少なく、PT A行事もさほど多くはないかと思えます。又、生まれ育った地区を離れて通う場合もあります。そのため、学校の様子や子供たちの学校での様子を知ることができません。PT A活動に加わることで、いろいろなことが見え知ることができ、自然と子供たちとの話題も広がります。また、私自身も沢山の方々と知り合うことができ、お話を伺ったりと悩みを相談したり、自分自身が成長することができたかと思えます。雑な子育ての埋め合わせが少しはできたかもしれせん。



かわいい子には苦言を

教頭 佛田 清隆

昨年の『みなみ』に、生徒会新聞の取材の折、宇南高の生徒の印象について聞かれ、咄嗟に『忍たま乱太郎』の登場人物のような『癒し系』とことごとく書きました。

その後一年間宇南高生を見てみるとやはり『癒し系』が多いと思います。もっと具体的にいうと、ほわほわとして周囲の人から攻撃されることを全く警戒していない、まして他人に意地悪するなど考えも及ばないといったところですね。

しかし、このことが最近、様々な出来事の遠因となっているように感じるようになりました。

家庭や学校にいるときは『癒し系』でよいと思います。安心して学習、部活動に集中してほしいです。ただし、敷地を一步出て、登下校の途上で同じ体勢では危険が多すぎます。漫画の『忍たま』たちは周囲に対してあまりにも無防備なので、たびたび『どくたけ城』の悪い忍者などに捕われたりしています。

暗くなつてから、たとえば雀



宮駅までの歩道のない細い道を、自転車と並んで走る生徒、一人で帰る女子などは、無防備そのものといえるでしょう。「忍たま」の主人公たちは、事件を起こすたびに忍術学校の先生たちが助けに来てくれますので、命にかかわるなどの重大なことにはならず済んでいます。本校でも、宇都宮南署の生活安全課には警戒をお願いすると同時に、生徒部の先生方が放課後、特に部活動終了時間の前後に、不審者の出没する箇所を巡回しています。しかし、現実には漫画のようにうまくはいきません。

昨年の『みなみ』ではさらにこう加えました。『将来のためにも、いまのうちに少々苦勞をさせましょう。そして、遅くなった乱太郎をみるのも、なかなかよいのではないのでしょうか。』

今年、保護者の皆様に次の提案をしたいと思えます。

『大きな事件、事故に巻き込まれ、大きなダメージを受けることを避けるためにも、少々苦言を与えましょう。』

苦言は耳に痛いので、親子げんかになる可能性もありますが、事件事故に巻き込まれたときのダメージに比べれば、あまりあると思えます。

そして、危険に対する姿勢の備わった逞しい乱太郎をみるのも、なかなかよいのではないのでしょうか。

PT A関東大会

PT A会長 川島 信一

「学びあい、高めあい、心豊かな若人の育成」をメインテーマとして、第五十五回関東地区高等学校PT A連合大会が、山梨県で開催されました。

初日は、「人生が変わる話し方」～人間関係のレベルアップ～として、山梨県出身でラジオなどで活躍している小俣雅子さんの記念講演がありました。ネタティブな思い込みを、(ことば)でポジティブに変換できるなど、ことばを使うスペシャリストとして体験を踏まえた、ためになる話が聞きました。

二日目は、「進路指導とPT A」と題した第二分科会に参加し、真岡女子高等学校と下館第一高等学校の発表を聴いてきました。PT Aの視察研修、空調設備の設置、スクールバスの運行、PT A及び生徒会本部役員間の座談会など、たくさん面白い話が聞きました。我が校でも良いところは見習って、よりよい学校作りに役立てられたらと思います。



8校球技大会

厚生部

七月五日、8校球技大会が雀宮中で開催されました。

バレーボールは、息詰まるラリーの応酬が続く大熱戦。練習で培ったチームワークの良さを遺憾なく発揮しました。ソフトボールも逆転に次ぐ逆転で、最終回の攻撃が制限時間切れで出来なかったことが本場に残念。双方、あとわずかのところで初戦突破を逃しましたが、親睦を深めるという一番の目的は充分に達せられたと思います。

皆様も年一度、一緒に汗を流してみませんか。来年もご参加お待ちしております。



PTA交通街頭指導

生活指導部

九月二十八日からの三日間および十二月十四日からの三日間、セブンイレブン宇都宮東谷町店前・雀宮駅南踏切・マルカ冷蔵前の三カ所にて、職員・生徒・保護者が合同で交通街頭指導を行いました。

我々が立哨しているせいもあったでしょうが、生徒の皆さんはきちんと一列に並んで自転車を走らせていました。服装の乱れも少なかったように思います。ただ、雨天時にレインウェアを着用しないで自転車に乗っていた生徒がとて多かったので気がなりました。胸ポケットから携帯音楽プレイヤーのイヤホンがのぞいている生徒も多かったです。昨年「交通の方法に関する教則」が改正され、傘をさしながらの片手運転、携帯電話やヘッドホンを使用しながらの運転は禁止されました。交通ルールを守って安全に通学しましょう。ご家庭でもご指導よろしくお願いたします。



PTA研修会

研修部

十月二十四日、講師の浅井恵美子先生をお招きして、プリザーブドフラワー・アレンジメント制作を行いました。

プリザーブドフラワーとは、生花を脱色乾燥させた後、再度染色したもの。見かけは生花とまったく変わりありません。ホコリと湿気に気をつければ、数年はもつそうです。

今回は、すでに処理を終えたバラとカーネーションを用いて作品を作りました。針金を使って花やりボンをスポンジ上に飾り付けると、とても華やかなものが出来上がりました。参加者一同、楽しい時間を過ごさせていただきました。

